

# JASM第一工場立地協定式

10月24日、町とJASM (Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社)は、県庁において、木村知事立ち会いのもと、工場増設に伴う工場立地協定を締結しました。

同社は、令和6年2月に第一工場開所式を行い、同年12月に量産を開始しています。第二工場も、建設準備が進められており、本体工事の着工開始に伴い、立地協定を締結しました。第二工場では、約139億米ドル(約2兆1千億円)の投資が計画されています。日本国内において最先端の半導体、例えば回路線幅6~7ナノメートルのロジック半導体が製造され、



協定書を持つ木村知事、JASM堀田社長、吉本町長(写真左から)

JASMの歩み	
令和3年12月	JASM設立
令和4年4月	第一工場立地協定式
令和6年2月	第一工場開所式
令和6年12月	第一工場量産開始
令和7年10月	第二工場立地協定式



地下水涵養のため、田植えに参加したJASM社員

JASMは、熊本地域の地下水資源を守り続けるため、工業用水として使用する取水量と同等以上の地下水涵養を行う方針の下、さまざまな取り組みを進めています。本町は、関係機関と連携し、JASMの地下水保全活動を共同で推進しています。冬季に田んぼへ水を張り、地下へ浸透させる「冬季湛水」への協力、そして涵養効果の高い水稻作付けの維持・拡大に向けた地下水を育む環境づくりを、農家の皆さんと地域全体で取り組んでいます。町は、この取り組みを積極的にサポートし、地下水の持続性の維持と自然環境の保全を推進していきます。



JASMより寄贈された横断旗

## 官民連携のまちづくり

### 地域の安心・安全を支える

JASMは、周辺道路の交通量増加が皆さんのに影響を及ぼさないよう、交通機関などを活用した通勤環境づくりを推進しています。主要地域とJASMを結ぶ自社通勤バスやセミコン通勤バスを積極的に奨励し、従業員へ公共交通の利用を促すことでの渋滞緩和と環境負荷の低減を図っています。また、本町ではJASMと連携し、通学路の安全確保にも力を入れています。横断旗の寄贈や、地域や学校と連携した交通安全活動を実施し、子どもの安全な通学環境づくりを支援しています。

## 各種イベントを開催

地域に根ざした町内の企業が、町民とのふれあいを通じて交流の場を広げています。今年も町内で、子どもから大人まで楽しめる企業主催のイベントが開催され、多くの人にぎわいました。

### SCK熊本テックの「まうごつ祭」開催

9月27日に開催されたソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)熊本テックの「まうごつ祭」では、社員相互の親睦を図る機会作りに加え、地域住民への感謝を込めて、テック祭が開催されました。会場内には、社員が企画したブースなどが用意されており、子どもから大人まで楽しめる内容となっていました。参加した人は「企業の人と一緒に楽しむことができて良かった」と、話していました。



開会式の前に鏡割りをする町長

### JASMスマイルデー開催



JASMスマイルデーの会場の様子

10月25日に開催された「JASMスマイルデー」が、地域住民や従業員の家族を対象に実施されました。当日は、JASMが取り組む水と環境に関する展示ブースでは、地下水保全や排水処理、交通渋滞対策といった地域の課題に対する取り組みを来場者に分かりやすく展示していました。JASM社員から説明を受けた人は「JASMの取り組みを知ることができて良かった」との感想がありました。

### 富士フィルム設立20周年記念式典

10月19日、富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング九州製造本部が設立20周年を迎え、記念式典が開催されました。この式典には、富士フィルムホールディングスの後藤社長も出席し、関係者と共にこの節目を祝いました。

同社は、平成17年に「富士フィルム九州」の名称で町に設立され、液晶パネルなどに不可欠なディスプレイ用材料を製造し、世界的に高いシェアを誇る企業へと成長しています。

また、令和6年1月からは、国内拠点として初めて「CMP(シーエムピー)スラリー」の生産を開始し、半導体製造分野における重要な役割を果たしています。

設立から20年を迎えた同社は、これまで地域経済に多大な貢献をしてきており、地元住民との信頼関係を築きながら、地域とともに歩んできた歴史は、町の発展に欠かせない存在となっています。



記念撮影をする吉本町長と、後藤社長(写真中央)

## 町とともに歩む

これは自動車や画像センサーなどの産業用はもちろんのこと、電化製品などにも幅広く使用されます。

また、立地協定式では、JASMの堀田社長から、「地域振興、地元雇用、環境保全、そして自然との調和に協力することを、改めて皆さまにお約束いたします」との言葉があり、吉本町長は、「JASM進出効果を町民ひいては、県全体に波及で起きるよう、町としてもしっかりと組んでまいります」と述べました。

今後、町は、JASMの進出による経済効果を最大限に生かし、町民の生活向上を図るとともに、持続可能な発展を目指していきます。

## 町とともに歩む